

ごあいさつ

団長 渋谷美樹

今日は、藤枝市民吹奏楽団Charming Brass 第26回定期演奏会にご来場頂きまして、誠にありがとうございます。ごさいます。

昭和55年7月の楽団結成以来26年目、恒例となった定期演奏会も毎年開催でき、新たな四半世紀に入り、団員一同、大きな喜びを感じています。これも、私どもの活動にご協力いただいている皆様、そして、いつも演奏に耳を傾けてくださる皆様あってのことと、深く感謝申し上げます。現在、毎週一回の定例練習会、地元の行事での演奏、市民文化祭の運営など積極的に活動しております。今後も地域に根差した演奏活動を目指し、音楽の輪を広げていけますよう団員一同努力して参りますので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

休日の貴重なひとときですが、皆様にご満足頂けますよう、精一杯演奏致しますので、最後までごゆっくりお聴き下さい。

藤枝市民吹奏楽団 Charming Brass ～チャーミングな仲間たち～

Conductor

渋谷 美樹
長谷川 淳一

Flute & Piccolo

大石 緑
廣瀬 順子

Oboe

松林 靖夫(賛助)

Clarinet

池田 千里(賛助)
★石田 奈々子
磯野 絵里奈
杉浦 香織
田島 美加
山本 由紀子

Bass Clarinet

望月 洋

Alto Saxophone

★上原 秀之
谷崎 成二
本間 克己
森川 智子

Tenor Saxophone

今井 孝夫
佐藤 英子

Baritone Saxophone

岩淵 弥紗

Horn

★乾 安英
梶原 麻理絵(賛助)
杉浦 勉
山崎 真左乃

Trumpet

乾 淳夫
大石 孝之
小林 健
曾根 章広
堀江 沙矢香

Trombone

池田 祐二
古場 ゆりあ
後藤 重紀
進谷 新吾
塚本 あやこ

Euphonium

青木 有香
新村 亨(賛助)
西尾 佳津子(賛助)

Tuba

磯部 孝雄

String Bass

村松 信子(賛助)

Electric Bass

長谷川 淳一

Piano

岡田 佳子(賛助)

Percussion

市田 純子
渋谷 美樹
真下 宏造
山本 匡子(賛助)
横山 久子(賛助)

★=第26回 定期演奏会 実行委員

FCBの活動

[平成17年]

6/19 第25回 定期演奏会
7/23 駅前商店街 納涼市にて演奏
8/6 駅南サザンカーニバルにて演奏
10/22 産業祭にて演奏

10/30 藤枝ライオンズクラブ里山を
歩く会にて演奏
11/19 瀬戸谷まるかじりにて演奏
11/20 市民文化祭

[平成18年]

1/22 葉梨中学校吹奏楽部と合同演奏会
4/30 藤まつりにて演奏
5/28 ミュージコ吹奏楽フェスティバル
6/4 第26回定期演奏会

団員募集中

- 楽器演奏経験のある方(ただし高校生の場合は、保護者の同意が必要になります。)
- 藤枝市民以外の方でも、もちろんOKです。(現在、焼津・島田・静岡・吉田などからの団員もいます。)
- 演奏楽器を自分で用意できる方(無理な方はご相談ください。)

楽団事務局：090-9949-4764

楽団ホームページも
のぞいてみてください!

<http://www2.tokai.or.jp/hanapo/fcb/>

藤枝市民吹奏楽団 Charming Brass

第26回 定期演奏会

2006年6月4日 13:30 開演



後援：藤枝市 藤枝市教育委員会 大井川町教育委員会 藤枝市文化協会
静岡新聞社・静岡放送 K-MIX



プログラム

第1部 指揮／長谷川 淳一

♪ Concert Prelude／コンサート プレリュード Philip Sparke 作曲

オペラの前に演奏される「序曲」の由来は、おめかしのために上演時間に決まって遅れてくる貴族のご婦人方への紳士的な配慮からだったとか。「プレリュード」もメインとなる長大な楽曲の前に演奏される小品という意味がありますが、どちらもメインの曲を引き立たせるために、小粋な曲想や作曲手法を持った作品が多いのが特徴です。この曲も、4/4、3/4、6/8と次々と変化するリズムが躍動感と若々しさを感じさせてくれます。

吹奏楽で著名な作曲家であるP.Sparkeが、1975年にプロとして最初に出版した曲です。

♪ Journey Into Diablo Canyon／魔の谷への冒険 David Shaffer 作曲

Diabloとはスペイン語で「悪魔」という意味です。Canyonとは「峡谷」「渓谷」。アメリカ中西部の砂漠地帯にはdiabloと名づけられた場所が多くありますが、いずれも切り立った崖がどこまでも続き、先住民のインディアンにも、迷い込んだら再び帰っては来られない場所として恐れられていました。

タイトルの「diablo canyon」がどこなのかは定かではありませんが、多くの危険を乗り越えながら深い谷を抜け、ついには壮大な風景にたどり着く、という冒険物語です。

♪ 赤とんぼ 山田耕柝 作曲 星出尚志 編曲

「このあたりはいちめん桑畑でね。親からは道草しないで帰ってこいって言われるけど、どうしても学校帰りに畑の中に入って食べてしまうんだよ。甘酸っぱくておいしくてね。帰ると、また道草したでしょ！と怒られる。してないよというと、口のまわりに道草したってちゃんと書いてあるってね。桑の葉の青い汁ってなかなか取れないんだよ」。

藤枝市仮宿に住むあるおばあさんが先日話してくれました。ひと昔前と言っても、もう想像もつかない風景ですが、歌詞を含めて、いつまでも歌い続けていきたい曲のひとつです。

曲は、様々な楽器が繰り返し主題を演奏するといったラブソフィー風のアレンジとなっています。

♪ Tarantella／タランテラ イタリア民謡 Alfred Reed 編曲

中世イタリアで、手足がけいれんし、自分の意思に関係なくピクピクと動いてしまう舞踏病という奇病が流行しました。病気の原因として信じられていたのは毒ガモ「タランチュラ」。現在の研究では毒は持っていないことがわかっていますが、当時としては非常に恐れられたクモでした。

それを治療する方法として信じられたのが、3/8、6/8拍子の早いテンポの民謡に合わせて踊るといって、これも現代医学からみれば全く見当違いな荒行。いつしかこれらの民謡は、「タランチュラ」の毒を抜くという意味で「タランテラ」と名づけられたそうです。現在の踊り方は、大人数で手をつないで輪を作り、フレーズが変わるごとに左右交互に走り回ります。そう「マイム、マイム」を過激にしたような感じでしょうか。

曲は現地の民謡をモチーフにアレンジされたものです。

なお編曲者のA.Reedは2005年9月17日に逝去されました。吹奏楽では20世紀を代表する作曲家の一人であった彼は、私たちに作品を通じて吹奏楽の素晴らしさを教えてくれました。ご冥福をお祈りいたします。

♪ Liberty Guiding the People／民衆を導く自由の女神 樽屋雅徳 作曲

ニューヨークのマンハッタン島にある有名な「自由の女神」は、1886年、アメリカ独立100周年にフランスが贈ったものです。像のモデルは、フランスの画家ドラクロアが1830年に「フランス7月革命」の様子を描いた「民衆を導く自由の女神」という絵画に描かれている女性です。歴史や美術の教科書に必ず載っているので、知っている方も多いことでしょう。戦場をフランス国旗を掲げ、民衆の先頭に立って裸足で駆け抜ける様子が描かれています。

この曲もこの絵にインスピレーションを得て作曲されました。革命が始まる前の不穏な動き、民衆のエネルギーがついに爆発し戦闘に突入していく様子、戦いが終わり再び戻った静けさと安らぎ…などが場面を追って表現され、そして最後は民衆の勝ち取った自由が高らかに謳い上げられます。

さて主人公の彼女ですが、実はちゃんとした名前があります。「マリアヌヌ」といいます。おいくつの方なんでしょうか。

第2部 アンサンブル ステージ

♪ クラリネット五重奏 『Variations on a theme Ah,vous dirai-je,Maman (ああ、聞いてください、お母さん) ／きらきら星による変奏曲』 森田一浩 編曲

♪ サクソフォーン四重奏『シング・シング・シング』 L.Prima 作曲 高山直也 編曲

♪ 金管五重奏『動物めぐり』 中川幸太郎 編曲

第3部 指揮／渋谷 美樹

♪ アニメ・メドレー『ハウルの動く城』より 久石 譲・木村 弓(世界の約束)作曲 鈴木英史 編曲 秘密の洞穴～人生のメリーゴーランド～陽気な軽騎兵～世界の約束～ 星をのんだ少年～人生のメリーゴーランド

♪ ジャパニーズ・グラフィティ X『時代劇絵巻』 星出尚志 編曲 「水戸黄門」より ああ人生に涙あり～「銭形平次」～「大江戸捜査網」より 大江戸捜査網のテーマ～ 「大岡越前」より 大岡越前のテーマ～「暴れん坊将軍」より 暴れん坊将軍旧オープニングテーマ

♪ 追憶のテーマ M.Hamlisch 作曲 K.Urata 編曲

♪ Stevie Wonder Medley／スティーヴィー・ワンダー メドレー Stevie Wonder 作曲 Koichi Sugimoto 編曲 My Cherie Amour～Your Are My Sunshine of My Life～I Wish～Sir Duke～Fou Your Love

♪ Samba de Aida／サンバ・デ・アイダ Giuseppe Verdi 作曲 真島俊夫 編曲